



# みなみいず 町議会だより

No. **49**号

**2012年**  
平成24. 5. 15

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240  
E-mail: gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp



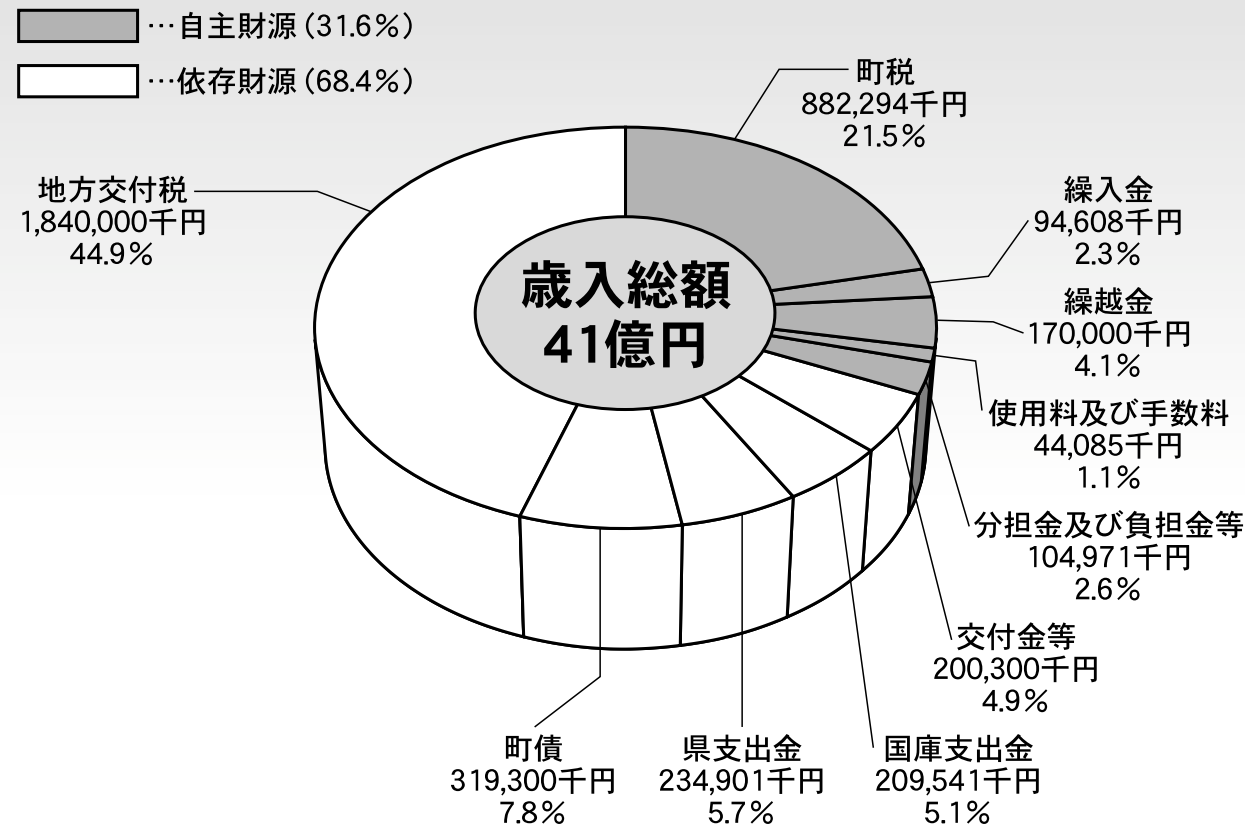
認定こども園で遊ぶ子供たち!!

**3月定例会を3月5日から3月28日まで24日間の会期で開催しました。**

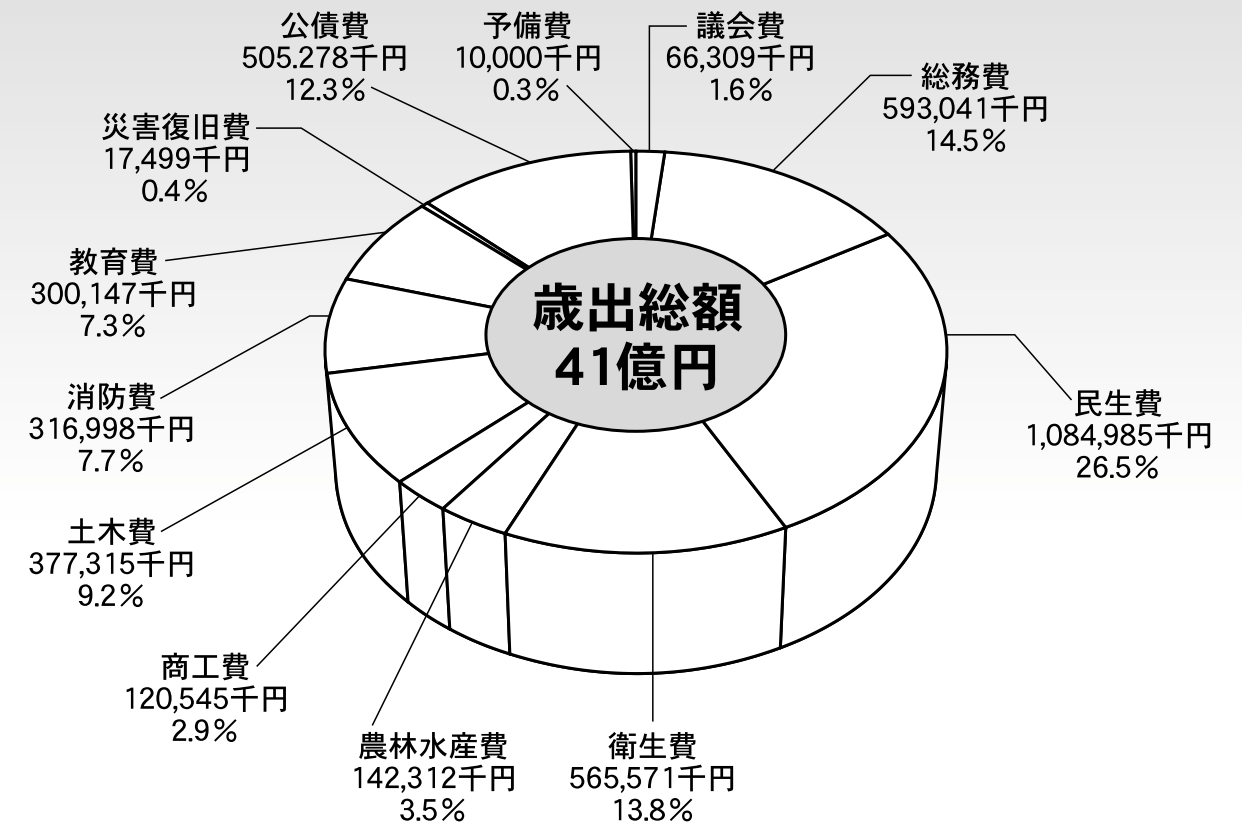
- 主な内容
- 3月定例会…………… 2～4
  - 審議中にあった質疑又は意見要望事項… 5～10
  - 一般質問…………… 11～19
  - 議会一口メモ、くろ潮…………… 20

# 平成24年度 一般会計・特別会計・水道事業 会計予算成立 総額74億3,450万7千円

一般会計…………… 41億円 (前年比-7.5%)



●防災対策・地域経済活性化に配慮



特別会計(11会計)… 29億6,355万9千円 (前年比+2.7%)

水道事業会計…………… 3億7,094万8千円 (前年比+11.6%)

## ① 人事案件

▼人件擁護委員の候補者の推薦について

渡邊芳男氏 南伊豆町下賀茂201番地の4  
 全員賛成で可決

▼南伊豆教育委員会委員の任命について

小澤義一氏 南伊豆町石廊崎289番地の3  
 全員賛成で可決

▼南伊豆町南崎財産区管理委員会委員の選任について

小澤義一氏 南伊豆町石廊崎289番地の3  
 鈴木達男氏 南伊豆町石廊崎320番地の1  
 菊池勉氏 南伊豆町大瀬349番地  
 菊池和夫氏 南伊豆町大瀬540番地の1  
 平山繁氏 南伊豆町下流109番地  
 平山宗一氏 南伊豆町下流555番地  
 平山峯生氏 南伊豆町下流122番地の1  
 全員賛成で可決

▼南伊豆町三坂財産区管理委員会委員の選任について

外岡昭氏 南伊豆町一色98番地  
 黒田宏氏 南伊豆町一色304番地  
 高野馨氏 南伊豆町入間1301番地の1  
 全員賛成で可決

## ② 条例制定・改正

▼南伊豆町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について

里中長平氏 南伊豆町入間724番地の3  
 藤田喜代治氏 南伊豆町入間893番地  
 山口和之氏 南伊豆町入間1304番地の1  
 勝田憲明氏 南伊豆町入間370番地  
 全員賛成で可決

▼南伊豆町税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について

全員賛成で可決

▼南伊豆町立図書館設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

全員賛成で可決

▼南伊豆町介護保険条例の一部を改正する条例制定について

賛成8・反対1で可決

▼賀茂郡介護認定審査会共同設置規約の一部を変更する規約制定について

全員賛成で可決

▼賀茂地区障害認定審査会共同設置規約の一部を変更する規約制定について  
全員賛成で可決

全員賛成で可決

▼南伊豆町営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について  
全員賛成で可決

全員賛成で可決

▼南伊豆町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について  
全員賛成で可決

### ③ 第一常任委員会審議

▼一部事務組合下田メディカルセンター規約制定について  
全員賛成で可決

▼南伊豆町庁舎ホール等使用条例制定について  
全員賛成で可決

### ④ 予算決算常任委員会審議

▼一般会計予算(議第40号)

- 総務・福祉・教育分野
  - 民生・衛生分野
  - 産業・土木分野
- 全員賛成で可決

▼特別会計

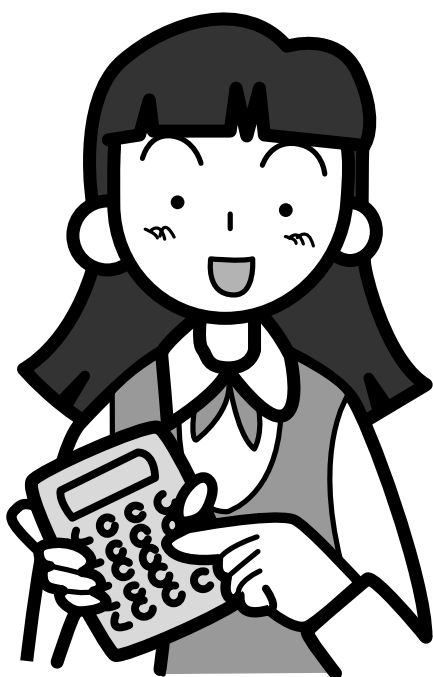
- 高齢化と介護に関すること
  - 国民保険制度に関すること
  - 下水道事業等に関すること
- 一部を除き全員賛成で可決

▼水道事業会計

- 上水道・簡易水道の維持管理に関すること
- 全員賛成で可決

### ⑤ 意見書・発議

▼東京電力の電気料金値上げに反対する意見書  
全員賛成で可決



# 予算決算常任委員会審議内容

## 一般会計

1、総務福祉・教育分野

問 防災強化において人員を増やしていくのか。

答 現在の組織を強化し、活かして更なる充実を図っていく。



問 工事請負費、解体工事後の土地の所有、利用をどのように考えているのか。

答 地元と協議し理解を得られるよう合わせて考えていく。

いく。

問 地域おこし協力隊の内容は

答 耕作放棄地の草刈り、清掃、林業研修、南伊豆町を売り出すブログの発信などを行っている。

問 町有建物等に太陽光などの設備の設置が考えられないか。

答 インニシャルコストがかかるので、バランスを考えた対応できるものは対応する。

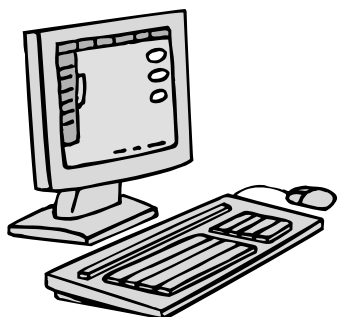
問 全国半島振興などの負担金があるがどのような会議があったのか。

答 国、県への要望にとどまっている。

問 電算事務の中でデータ保護についてTKCと

町と話し合ったことがあるか。又、今後の考えは。

答 今、3秒おきにバックアップを取っている。今後の検討課題と認識している。



問 コミュニティー施設補助費は、要望がきた時に優先的かバランスをみているのか。

答 バランスを見てやっている。極力地元からの要望は優先に行っている。

問 電気料金の値上げは大きな問題。風力発電を誘致

した我町、国に値下げの要望をしたら。又、クリーンエネルギーの推進の考えは。

答 東京電力に値上げについて要望書を提出した。クリーンエネルギーも考えながら多面で取り組んでいく。

問 路線バス問題対策協議会はいつ開かれるのか。又、新エネルギーの委員会は。

答 路線バスは、年1回、2回。年度末に会合を開いている。議員も構成メンバーに入っている。新エネルギーは、調査中であり事業の進み具合で2、3回の予定。現在は、未定である。

問 新エネルギーは地熱だけか。太陽光、風力など言われるのか。

答 地熱だけではない。すべて含まれている。



問 コンピューターのウイルス対策はどうなっているのか。

答 情報系業務電算事務の消耗品の中で扱っている。150台分のウイルス対策である。

問 ホームページを改修することによって、どのように変わるのか。

答 トップページのデザイン的なものが変わる。多元化するグーグルマップの連携システムを入れる動画投



稿の配信を考えている。



**問** 電算管理費は、一括管理はできないのか。又、動画の配信はできるのか。

**答** 電算管理の一括管理はどうしてもまとめきれない部分がある。動画の配信は今後の検討課題である。

**問** ホームページ改修の中で方向性が決まっていらない議員も入れるのか。

**答** 現在は考えていなかった。今後は検討して考えていく。

**問** 郷土資料館は、なぜ随意契約なのか。1、000万円以上は入札で

**答** 新庁舎建設によるク

ラックの発生等があり、合わせての工事であった。

**問** 財調の繰入を含めての予算の編成をした中での町作りの方向性は。

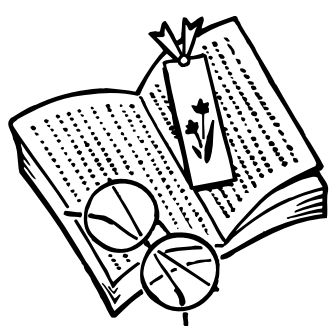
**答** 進む高齢化対応、少子化問題、ハード面だけでなくソフト面でも基本を考えて、又税収を上げ安心、安全を、知らしめる町作りを進める。



**問** 政府がやろうとしている消費税増税は町長の進める町作りが根本的に崩れてしまうのではないのか。国への対応は。

**答** 税の問題は大きな問題、国の動きを見ながら足、腰の強い町作りを進めていく。

**答** 資料も少なくなっている。協議しているが底をつくまでやるべきと思っている。



## 2、民生・衛生分野

**問** 高齢者通院費助成金の内容は、又、2分の1の負担は。

**答** 下田メディカルへの通院は町で発行する券にバス会社と病院の証明で2分の1の補助、又、医療費が1日1、000円を超える者に対しても補助の考え、必要に応じて精査する。

**問** こども園の園長は公募

**問** 償還金利子及び割引料は、予算化の必要があるのか。

**答** 町税を過って納入課税していることもある。5年までのもの。それに対しての還付である。

**問** 振興宝くじ交付金、350万円は町の中で販売の実績の還付か。

**答** 還付ではない。たばこ税とは違う。

**問** 防災無線電柱(パンザマスト)は大丈夫か。

**答** 震度6までは大丈夫とのこと。中の何台分かのバッテリーの予算をお願いしている。



であるのか。

**答** 幼児教育の実績のある者をお願いする。

**問** 子ども支援センターの保育士の採用状況は。

**答** 支援センターこども園の保育士は確保できた。



**問** 買い物支援で下田までの考えは。又、元氣の高齢者を作るのが非常に重要。その対策は。

**答** 買い物支援で下田までは考えていない。医療、福祉、生活、地域包括ケアの考え。その考えに向けて対策していく。

**問** 僻地医療送迎の問題でカードの発行は。病院の指定は。

**問** 機能別消防団は考えているのか。

**答** 現在は、考えていない。

**問** 災害対策が重点的に編成されている。内容は。

**答** 消防ポンプ積載車、自主防への補助金、看板、ヘルメット、防災服、タワー設計料、備蓄食料、衛星携帯など主なものである。

**問** 津波避難タワーの発注はいつごろか。地元の話し合いは。又、井戸水の保護、孤立集落への対応について。

**答** 地元の意向を取り入れながらスピード感を持って進める。井戸の保護は、進んでいない。ヘリポートの調査を継続する。

**問** 消防団員に免許の取得は考えているのか。又、避難経路になる山の方にも手をつけて。

**答** 免許の件は勉強する。山の方も考えている。行政もバックアップは考えてい

**答** 申請してカードの発行、病院は下田メディカルセンターが対象。

**問** 証明書はどこで発行するのか。区長での発行か。

**答** 年2回ほどまとめて町が個人に発行。

**問** 放課後児童クラブ運営事務費は、前年と同じ。もっと活動的にできないか。

**答** 学校の施設を使うので現状のまま。



**問** 通院バスを病院組合での運行は考えていないのか。

**答** 組合での運行は難しい。

**問** 敬老金は何歳以上か。敬老委託料はどこへ委託す

る。

**問** 大きな団体がコミュニケーションホールをまだ使用していない。皆様の意見を集約した中での取り壊しは待てないのか。

**答** ホールについては、今まで通りの使用が出来るものと確信している。

**問** 文化財の保護の観点から、地区の祭りを文化財と考え手厚く保護の考えは。

**答** 担当課に命じて検討する。

**問** 日誌遺跡の出土品の保管の検討はしているのか。

**答** 南崎保育所等や耐震のある所を探しながら考える。



るのか。

**答** 敬老金は80歳以上が対象。敬老委託料は各区に委託している。

**問** 感染病予防事務費で看護師賃金は、昨年は職員対応のこと。本年は。又、需用費の医薬材料費が増えたのは。

**答** 前年度は、総務費で事務と両方できる職員を考えていたがいなかった。本年度は、臨時看護師賃金で、ワクチンは集団接種するので、医薬品を町で用意するため。

**問** 浄化槽設置事業は、計画通り進んでいるのか、また、町で最終処分場の検討は。

**答** 22年までである程度普及が図られたため、23年度から592万円で5ヶ年継続していく。最終処分場の件は、現在は考えていない。

**問** 焼却設備補修工事の内容は。

**問** 出土品の重要な物は浦原にある。保管の見通しをたてての考えは。

**答** 南伊豆の歴史を物語るもので、可能な限り展示することを検討する。

**問** 社会教育の一環の中で野球、サッカーなどへの援助の考えは。

**答** 野球やサッカーへの助成はグラウンド使用料、電気料など援助している。

**問** 教育資金利子補助金は他と比べ少なくないか。又、周知しているのか。

**答** 昨年度は、なかった。お知らせ、広報はしている。

**問** ジオパークの看板の点でジオパークも町指定の文化財としていけるのでは。

**答** 産観と連携してやっていく。

**問** 石垣りんさんの予算が少ないが来年度への考えは。

答 清掃センターも20年経過し老朽化している。冷却システムが破損。その場所をメインに修理する。

問 焼却施設を24時間稼働に転換することは可能か。

答 24時間稼働は無理である。

問 青野汚水浄化槽施設補修とあるが現在はどうなのか。

答 保有水が出る場所が安定しないため排水ができない。10年が経過し目詰まりあり限界のため。

問 焼却施設運営を民間に委託の考えは。

答 今後、考え検討していく。

### 3、産業・建設分野

問 有害鳥獣対策調査委託料について、どちらに依頼

し、その内容は。

答 生態系、被害状況、防止策、資源化の調査、どこに依頼するかは今後の検討。

問 美しい森林づくり基盤整備は。中山間地域林業事業補助金の具体的内容は。

答 森林整備事業、間伐が主で、中山間事業には一部機械の購入がある。



問 有害鳥獣対策の対象鳥獣とは。

答 イノシシです。

問 調査はどちらに依頼するか、又、どの範囲に渡るのか。

答 環境アセスメント調査、

捕獲に実績のある業者に依頼し、又、町でイノシシの生態を探るのが目的です。

問 イノシシだけでなく、シカも対象にした方がよい。

答 24年度は、シカも対象としていく。

問 前年度は否決であったが、今回予算を付けた理由は。

答 前年度に加えて5項目増やした上で、予算を計上した。

問 差田グラウンド用地を整備をして、野球、サッカー等で使えるようにするのも観光の一つとなるが。

答 一部が買収されていない。将来の検討課題である。

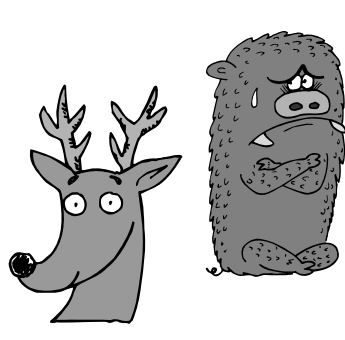
問 農協で捕獲した鳥獣の実績については。

答 駆除確保の県緊急雇用対策で農協も続けている。3月13日現在、76頭捕獲し

ている。

問 今、この地域での農業は難しくなっている。シカの被害も大きく対策を講じて……。

答 今後、実態調査をして対策を講じるよう考えている。



問 処理場は、去年把握していたから予算化できるのでは。

答 一般会計には計上していなかった。NPO等と先進地視察は行った。

問 調査の段階は過ぎている。これからどうすべきか。

答 今回は、それなりの検討を加え予算化したもので

問 荒廃農地について。町が把握しておくべきである。

答 もう一度よく調べて町でも把握しておきたい。

問 間伐材の再利用は。

答 地域産材の利用は、進めています。

問 水産についてはどうか。商工会等で専門家が加工する人を指導している。県制度融資で。

答 利子補給も考えている。

問 間伐材の再利用は重要である。

答 今後も考えている。包括的に考えながら政策的に行っていく。

問 観光振興事業でイセエビ号をどのように考えるか、又、予算立ては。単年度で終わらせないでほしい。

答 JR東日本と協議しあって検討していく。予算は、立てていないが宣伝委

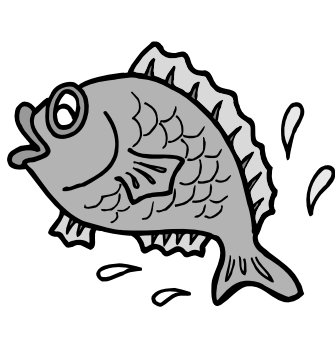
す。

問 耕作放棄地の対策は、又、林道八木山線の進捗状況は。

答 耕作放棄地について、「元気な百姓まつり」やダイレクトメール作戦等対策している。草刈り機も貸し付けもしている。青野八木山線は平成28年完成予定。

問 稚貝稚魚放流事業について。南伊豆にあったものを放流してほしい。

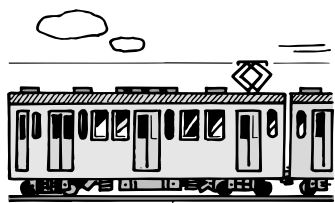
答 アワビ、真鯛、イセエビを放流している。



問 中木陸間工事で船の接岸は可能となるか。

答 平成24年度のテーマは

託料に入っている。



問 臨時ダイヤ、行政側も姿勢を見せるべき。6月の補正予算でも、電子モールの内容、運営形態は、宣伝委託料の内容は。

答 ネット上で買物が出るシステム、観光協会通年委託料、インバウンド振興事業、観光予算、おもてなし事業等です。

問 駿河湾海上交通活性化負担金、インバウンド事業負担金の内容は。

答 駿河湾負担金は、各地イベント等で、インバウンド事業負担金は、台湾誘客関係の内容です。



答 農業者以外の方にも農業の理解をもらうため、試験的に予算をつけた。有機農業推進協議会が管理者としている。

問 体験農業管理業務の役割、目的、委託は。

答 温泉を使った養殖は検討課題である。林道八木山線は、県の事業なので難しい。今後検討していく。

問 青野八木山線は半島振興法で前倒しできないか、又、養殖は下賀茂の温泉が利用できるか。

答 温泉を使った養殖は検討課題である。林道八木山線は、県の事業なので難しい。今後検討していく。

問 11万の収入が入るが管理費との整合性と位置付けは。

答 体験農園のものも売れる様に24年4月1日から改正。

問 もっと整合性を考えるべき。

答 今後も検討し進めていく。

問 森林整備事業が減ってきているが。

答 県からの削減が確定しているため。

問 水産に対する考え方が軽視されている感じがするが。

答 水産業を活性化しよう努力していく。

問 農地費について。これは災害用受益者負担が生じても、この規模で大丈夫か。

答 昨年度の実績により計

答 行政側も頑張っていく。

問 臨時対策債を使っても後継者、又は加工業を復活させることが重要である。

答 個人所有である限り、町としての管理は難しい。

問 「グリーンバンク事業」「森の力再生事業」も継続的、総合的に考えていくべき。



答 「グリーンバンク事業」「森の力再生事業」で進めていく。

問 森林整備事業、間伐事業が中心であるが同じ方向でいくか。

上しました。



問 クレーマーへ対処は。

答 中規模なので会社を束ねていく必要はある。検討していく。

問 駿河湾フェリーを使っ  
て誘客する考えは。

答 その考えはある。色々なイベント等に対応している。県と連携し検討していく。



問 観光立町である南伊豆  
ユウスゲ公園などもっと特  
徴を発信させていくべきで  
ある。

答 あるものを活用して他  
に負けない企画を作る努力  
をしている。やれるところ  
からやっていく精神で振興  
を目指していく。

問 昨年の桜まつり45万人  
ぐらい。今年度は。

答 約3割程度減少かと思  
う。

問 減少した原因は。

答 桜の開花の遅れが原因  
かと思う。



問 今後の桜まつりでの他  
地区施設にも気配りが必要  
である。

答 今一度、総洗いをし、  
年間を通じた観光立町を目  
指していく。

問 環境美化推進事業委託  
料で石廊崎関係は、去年と  
同額。これについて。

答 昨年は、あいあい岬の  
観光トイレ等を直した。今  
年度も維持管理につとめる。

問 東屋解体工事について。  
取り崩した後は。

答 修復すると500万円ほど  
かかるので、今のところ計  
画はない。場所は、本瀬で  
ある。

問 商工会、観光協会等の  
補助金は、人件費的補助金  
なのか。観光協会に自立を  
願うか。

答 あくまでも自立を願っ  
ている。

問 負担金補助及び交付金  
で手石港・妻良漁港の整備  
事業負担金の内容、弓ヶ浜  
の関係で県と話し合いは。

答 港湾・漁港維持工事と  
施設改良工事の35%負担金  
である。手石港は定期的に  
船の通行のためしゅんせつ  
をしている。砂浜の減少に  
結びつく話し合いはしてい  
ない。

問 手石港しゅんせつの折、  
出た砂の行方は。

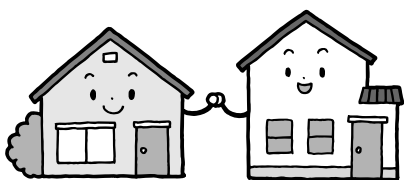
答 環境庁の許可を元に、  
相模湾沖に投棄している。

問 住宅リホーム振興事業、  
ブロック塀等耐震改修促進  
事業、どのような見込か。

答 リホーム振興事業上限  
20万円で、25戸分。23年は、  
24戸完了している。ブロッ  
ク塀等は、上限20万円の2  
分の1補助。改善は、25万  
円で5か所分である

問 町内には、空き家が多  
い。定住推進のためリホー  
ムをお願いしたい。

答 今のところ考えていま  
せん。



問 青野ダムのブラックバ  
スの現在は。

答 調査した結果、いると  
のこと。産業観光課と建設  
課で調査していく。



問 ファブリダムを造れる  
可能性は。

答 ファブリダムについて  
県と協議をしていく。

問 ファブリダムで水位を  
上げ、船を浮かばせる考え  
で観光は。

答 そのために、設置する  
のは難しい。

## ● 一般質問

# 町長に聞きました



吉川 映 治 議員

## 石廊崎区が抱えている

### 諸問題について

質問 石廊崎区所有の土地  
に投棄されたゴミの処理を  
町側をお願いしたいが。

質問 白水城本丸跡にあつ  
た休憩所とパネルが撤去さ  
れたが、その後の処置は。  
産業観光課長 県の管理し  
ている所ですので、町側は、  
直接整備ができません。

質問 今月十七日にグリー  
ンワーカー事業として、環  
境庁主導でゴミ処理を行っ  
てくれるが、町側の支援は。

質問 休憩所とパネルを建  
て直していただく様、県に  
要望してほしいが。

町民課長 当該事業で集め  
たゴミ等を、町の焼却施設  
で処分することを約束しま  
した。

産業観光課長 県とその可  
能性について、協議をして  
参ります。

質問 砂防ダムがない為、

石廊崎区に防災上、観光上  
で深刻な事態が発生してい  
るが。  
町長 今後よく調査した上  
で、対応して参ります。  
建設課長 過去に調査しま  
したが、地主に断られた経  
緯があります。再度県・地  
主にお願ひしてみます。

質問 ダム二基の内、一基  
は岩崎産業(株)の土地から外  
れているが。

建設課長 二基とも係争中  
の相手方の土地と聞いてい  
ます。

## 南伊豆町 社会福祉協議会の 現状・課題そして 要望について。

質問 今南伊豆町社協に求  
めているものは。

町長 福祉の面で、さらな  
る事業展開・発展を期待し  
ております。

健康福祉課長 町の福祉を  
担っていく上で、重要なパ  
ートナーだと思っています。

質問 今、社協が間借りし

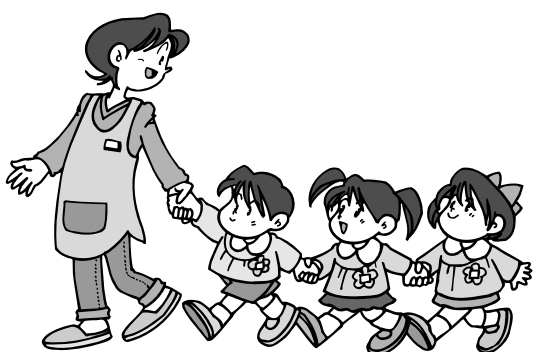
ている施設では、充分に力  
を発揮できない。町側の支  
援をもっとお願いしたいが。  
町長 当面は今の施設でが  
んばってもらい、中長期的  
な計画で取り込んで参りま  
す。  
中央公民館を耐震化した  
上で、社協の施設として利  
用するのも、一つの方策で  
はないかと考える。今後の  
震災に備えて、南伊豆町社  
協の重要性が増していくこ  
とは事実であり、性急な対  
応を求めます。

## 子育て支援 センターの具体的 運営について。

質問 認定こども園内に並  
設される子育て支援センタ  
ーの存在理由と意義は。

教育長 支援センター並設  
は、認定こども園認可の条  
件です。

教育委員会事務局長 支援  
センター条例の整備等で準  
備が遅れました。今後は皆  
様に利用していただける様、  
努力して参ります。



質問 支援センターと子育  
て広場「ありんこ」との関  
係は。  
健康福祉課長 「ありんこ」  
の存在は貴重ですが、役割  
は終了すると言う事になり  
ます。

質問 支援センターの未就  
園児と、認定こども園の園  
児を隔離する理由は。  
教育委員会事務局長 保護  
者同伴である未就園児達と、  
そうでない園児達の違いが  
第一の理由です。



宮田和彦 議員

## 避難訓練見直し

**質問** 多くの生命、生活、財産を奪った昨年3月11日に発生しました東日本大震災から1年が過ぎようとしています。現在も厳しい避難生活を送られています皆様と、一日も早い復興を心中より改めて強く願います。

そこで、避難訓練を平日の日中や夜間、抜き打ちで実施し、そこにとのような問題があるか、家族や地域で話し、考えることにより訓練に参加している実感が深くなり参加者も増え減災につながるかと考えるが、当局の見解を聞く。

**町長** 町で行っている訓練を総ざらいし、夜間、日中、抜き打ち訓練等より実効的な訓練の方が役に立つので、今後の検討課題とします。

## 自主防災再編

**質問** 自主防災組織は、自分達の地域は自分達で守るという自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織である。市町村がその充実に努めなければならない旨、

## 患者輸送バス

**質問** 今後患者輸送バスは、共立湊病院に建つ診療所への通院は無料、5月に開業する下田メディカルセンターへの通院は、路線バス運賃の半額を補助することでまちがいないか。

**健康福祉課長** まちがいありません。

**質問** 下田メディカルセンターからの距離が近い人の料金は安く、遠い人の料金は高くなる。これは、地域

によって格差が出るが。

**健康福祉課長** 最小の経費で最大の効果と言う事で2分の1助成となりました。

## 6次産業化

**質問** 地域資源を活用した農林水産物の利用促進に関する法律、6次産業法が施行されたが、町ではどのような6次産業化を、促進してきたか。

**産業観光課長** 特産品の加工や地域のブランド化を視野に取り組んでいます。

## 日野の菜の花畑

**質問** 今年の菜の花は低温もあるが水管理不足で町民の皆さんに大変心配を掛け



## 職員の昇進試験

**質問** 現在、勤続年数が長いと試験もなしに昇進している。能力がない職員を昇進させると町の仕事が滞り、町政や住民サービスに支障を来す。一定の線引きが必要だ。昇進試験の考えはあるか。

**町長** 県内で昇進試験を実施しているのは11市町と聞いています。今後の検討課題したいと思います。

## 下田メディカルセンター

**質問** 開院時の医療スタッフ確保が深刻と聞いているが。

**町長** 現時点の常勤医師10名、非常勤医師10名、看護師65名、薬剤師6名、臨床検査技師3名、放射線技師5名等開院時の予定総数130名程度と聞いています。



長田美喜彦 議員

## 観光問題

**質問** みなみの桜と菜の花祭りは、寒さのためおくれで開花、自然のこと、やむを得ないことですが、前後策の考えは。

**町長** 桜のシーズンの長期化、対応化、今後の検討課題としていきたい。

**質問** 銀の湯の前の山、里山の整備の一環であると思うが、借り受けて、遊歩道及び植栽を考えたか。

**町長** 花を活かしたまちづくりを進めている。今後、提案に対して前向きに検討

していく。

**質問** 夏の観光目玉でもある海水浴場の弓ヶ浜、砂浜の減少が著しい、5年周期とのこと、10年たっても、元に戻っていない町の考えは。

**町長** 県で調査をしている、さらに働きかけていく。

**質問** ジオパーク町としての方向性は。

**産業観光課長** 当事業が観光振興に寄与するよう、地域でジオパーク普及啓発に

努め、さらなる取り組みを進めていく。

**質問** 町政懇談会で町は観光でしか伸びていく道はないのでは、花の咲くところには客が集まるとの発言があった、その点、町としての考えは。

**産業観光課長** 花などを利用した骨太の観光政策をといた。桜、菜の花、山ツツジ、温泉、海産物、海の幸や山の幸、新しいイベントの融合を図り、年間通し強い観光施策を推進する。

## 教育の問題

**質問** 4月より体育の必修科目があるが、何の科目を選択しその科目には経験のある指導者がいるのか。

**教育長** 本町の2校は柔道を取り入れる予定、体育の先生の場合は、学生時代に必修で武道をやっている。又、武道の講習会をやる。

**質問** 全国小中学校のいじめが増加しているとのこと、



## 医療の問題

**質問** 5月1日から町民外来受付が即できるのか。医師一名でなぎさ園と診療等が賄えるものか。

**町長** 電子カルテの一元化により、下田メディカルセンターとの医療連携を図り、外科、整形外科、診療体制についても早期に対応、協議をしていく。

昨年下田でもあったが、我町ではこの問題を把握しているのか。

**教育長** 町内で悪質ないじめがあったという話しは全く聞いていない。子供のけんかはある。

## 防災問題

**質問** 障害者の医療助成の対象者は何人か。

**保健福祉課長** 障害者医療費助成は、今年度248名の方に交付されている。

**質問** 要綱に抜けている点があるのでは、

**保健福祉課長** 指摘のとおり、県のほうとの絡み、町のほうでも取り組んでいく。

**質問** 避難タワー、どのくらいの規模のもの。何基、いつまでに作るのか。

**総務課長** まだ具体的に、その地質調査をしていない弓ヶ浜という観光地、総合的に考えて対応していく。

**質問** 観光客の避難誘導の点、ホテル、住民、協力を得て進めていってもらいたい。

た。行政の指導監督は、どの様になっているか。

**産業観光課長** 関係機関に協力を得て改善に努めます。



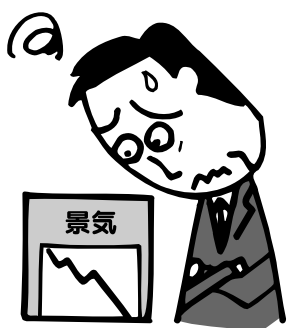


渡邊嘉郎 議員

## 平成二十四年度予算について

**質問** 町長の施政方針及び、予算編成方針の説明がございました。そんな中、一般会計から特別会計、水道会計まで配慮された編成をしていたのだと思います。

そんな中経済対策がもう少し感じられない部分があります。町長 長引く不況、景気低迷であるとか不況という言葉が、数年続いている。日本の経済の深刻な状況は我々は認識している中、昨年の三月十一日の大震災が追い



討ちを掛けるかのように、当町も国県の動向を今まで以上に注視しながら編成を行ったところであります。

緊急経済対策として利子補給制度は町単独の事業として実施、小口資金の利子補給であるとか等々実施している。また町内の店舗一五・一店向きに十五％の割り増しの南伊豆プレミアム商品券の発券五千万円この事業で地域購買の促進を図られると思います。その他商工会と連携して各種事業所のインターネットショッピングモールへの出店支援、また、新たにブロック塀等の耐震改修推進事業補助金の創設、住宅リフォーム推進事業補助金の継続等々、建設業への支援、厳しい財政状況の中ではありますが、公共工事を研さんしながら町内産業の活性化、経済対策に努めていきたいと思っております。

拡大緩和と今まで以上に働きかけを要望しPFI、PPP、PPS、が国でも騒がれておりますがそんな中PPS電力自由化を研究をして当町の公共事業所の電気料金の削減策を考えて行くのかをお聞きしたい。

**総務課長** 現在の全体の電気料金が五六五〇万円程度あるので検討します。

**質問** 今後値上げが十七％上がりますと大変に財政に負担になりますので研究してほしい。

**町長** 市町長会でも検討していますので慎重に対応していくつもりです。

**質問** 当町でも大型需要店舗もございましてぜひ市町長会でも電力会社の方に値上げの反対陳情を考える事を要望しておきます。

**町長** 経済対策の中老人福祉センターつまり福祉センターの建設を中央公民館を壊す前に再利用していく考え方はないかお聞きします。

**町長** 中央公民館は取り壊す方向で進めて行き福祉施設の問題は別に考えて行く



**質問** 町が全面的にバックアップを行政がしていかないと無理ですのでぜひ考えて行ってほしいと要望します。

**質問** 以前計画があったが議会で否決になってはいませんがぜひ福祉施設は考えていただきたい。そして観光対策ですけど東京のスカイツリーのオープンになりまして、全国から集まる客を伊豆半島に足を向けていただく対策はいかがですか。

**産業観光課長** 観光協会、関係業者、エージェントと協議しながら考えていくつもりであります。

対して補助事業の採択を働きかける。

## 南伊豆町の地域資源(文化財等)を観光資源に文化財審議会の審議状況・今後の方向は

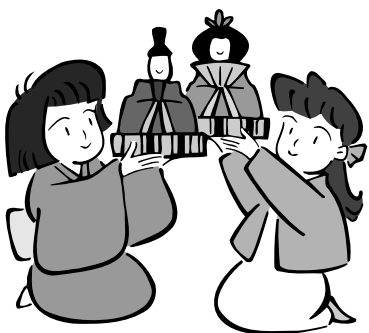
**質問** 平成二三年度審議会の開催状況と審議の方向性は。文化財指定の期間の目標はあるのか。

**教育委員会事務局長** 五回程度開催した。外部機関に調査依頼し、結果を待って町指定に向けた審議をした。

## 南伊豆町指定の文化財の必要性について

**質問** 現在、町指定の文化財は一件もないが寒い文化行政ではないのか。

**町長** 文化的・歴史的な価値の高いものが文化財と認識している。それらを保護、保存し、指定するのは必要不可欠と考える。



観光ボランティアガイドと南伊豆町の文化財について質問し、答弁があった。

台風などにおける漂着海藻等の活用について質問し、答弁があった。



谷 正 議員

## 災害(震災)対策について 一年を迎える東日本大震災後のなすべきことについて

**質問** 東日本大震災から一年が経過しようとしている。政府や行政は国民・住民の生命財産を守り、安心・安全が大命題と考えるが、復旧・復興が遅々として進まない現状をどう思うか。

**町長** 国は被災地のことをもっと考え、復興等にスピードアップをと願っている。住民の生命と生活を守り、安全・安心なまちづくりを再認識し、防災対策を最優先に予算編成を行った。

## 災害発生時における情報伝達・収集体制について

質問し答弁があった。

## 町民の災害への意識啓蒙活動について

質問 震災被害地の関係者

**各地区(地域)の公民館(集合所)等の地震対策について**

**質問** 町内各地区の公民館、集合所は災害時に避難所や備蓄場所になっているが、それらの施設について現状はどうなっているのか。



**総務課長** 各地区の公民館等については、半数程度が耐震補強等の必要があると考える。今後の課題である。静岡県等に対してそれらに

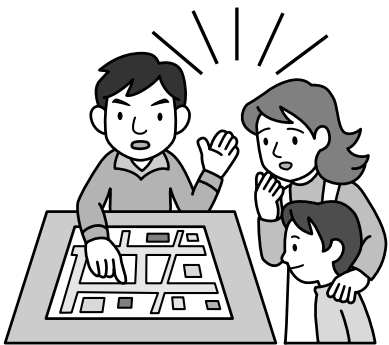




加 畑 毅 議員

## 観光対策、防災対策としての 山林整備の推進

**質問** 銀の湯会館前の山林整備で階段が設置され観光拠点ができた。災害時避難



地で利活用できる。観光地であり地震の多い地域である問題解決には山林整備が有効と考えるが如何か。  
**総務課長** 津波避難対策として高台への避難は、津波避難タワー、山林等も含めて最優先。山林整備をする作業道等が確保できれば、避難路として有効なことは認識している。手石地区自主防災会の有志の方々の避難路整備が良い事例で参考になるが、私有地であることや維持管理の問題も含めて今後の検討課題と考える。

## 今まで行った 質問についての 経過報告要求

**質問** 9月議会定例会から私が今までに行った質問についての経過報告を要求する。不妊治療補助金制度は平成24年度の予算に入っています。消防団員確保は消防団員を抱える事業所にメリットを与える形で効果を促してもらった。地熱の研究調査は現在進行中で着々と進んでいる。近隣市町と連携した地域力向上事業はナイトウォーキング等、町外の人も参加できるイベント開催で効果が出てきている。各課担当課長のコメントを下さい。

**保健福祉課長** 不妊治療の経済的負担軽減制度は、平成24年度から特別不妊治療に対する県の費用助成差額について町単独で助成する当初予算に計上した。

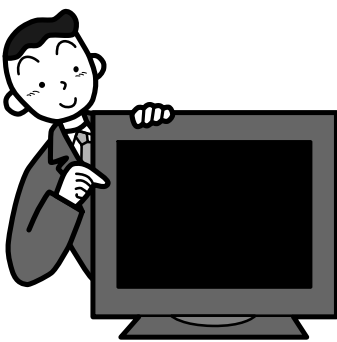
**総務課長** 消防団員の確保について、消防団員を抱える事業所の表示制度を要網

を作った。事業所の協力により消防団活動がし易くなる環境を進めます。

**企画調整課長** 地熱の現況調査については「温泉共生型地熱貯留槽管理システム実証研究」のうちの加納地区におけますボーリング調査の掘削が開始され、2月下旬に掘削深度700メートル程度で終了した。3月上旬には資機材を撤収。温泉湧出メカニズムの解明には来年度事業として噴出試験が必要。

**産業観光課長** 広域連携事業は平成22年度観光圏事業として、伊豆まるごと周遊ツアー事業、地域にぎわい創出事業、季節の花めぐり周遊事業、移動快適化促進事業等々を実施し、平成23年度は夜の町にぎわい創出化事業、伊豆まるごと周遊ツアー等々を伊豆観光圏の構成市町で実施している。

**質問** 地元のケーブルテレビの全町配信、町内各地の祭典保存のためサミット開催については答が出ていませんが何故か。



**企画調整課長** 地元ケーブルテレビの全町配信は、本町のテレビ共聴施設が各地域の事情により視聴の形態が異なっており行政としての関わり方が難しい。NHKの共聴施設については難視地区ということで国の補助金によりNHKが設置した。地元ケーブルテレビは民間企業が整備運営しているの制度上困難。町内各地の祭サミットについては、神事に関わることで行政の関わりは難しいが、地域振興策、地元のネットワークづくり、観光対策の考え方では理解している。  
※他5つの質問は文字数の関係で割愛します。



稲 葉 勝 男 議員

## 防災計画への取り組み 24年度予算での防災対策は

**質問** 東日本大震災を教訓に、各自自治体の防災関係予算が大きく伸びている。本町も津波対策で湊地区の避難タワー設置に対する調査費が計上されている。調査

結果により、早急にタワー建設へ着手する考えは。  
**町長** 調査結果を踏まえ、湊地区と協議し補正予算等で早期着手、完成を目指していきます。

## 近隣市町との連携は

**質問** 1市5町は防災に対する共通課題を多く抱えているが、連携を図ることで早期に対応し解決することを考えているのか。  
**町長** 近隣市町との連携が



## 防災教育は

**質問** 「釜石の奇跡」と言われる釜石市の津波防災教育が大きく評価されている。本町も昭和49年の伊豆半島沖地震で中木地区が人命を失うなど大きな被害を受けた経緯もあり、認定子ども園、小、中学校における防

災教育と計画への考えは  
**教育長** 学校で作成する地震防災応急計画には津波への対応は無かったが、新年度計画では町立東小学校へ津波対応を指示し、その他の学校も訓練を重ねることで危険意識と自助共助の精神を高め、認定子ども園に關しても南伊豆分校との協力体制を築いていきます。

## 共立湊病院 3億4千万円 赤字の原因は

**質問** 昨年4月から今年4月までの赤字3億4千万円の原因は何か  
**町長** 新共立病院の指定管理予定の医療法人の辞退で生じた医療空白問題解決のため運営規模の縮小による医療収益の減であり原資は内部留保金です。

## 共立湊病院 跡地利用計画は

**質問** 議会で共立湊病院跡地利用活用調査特別委員会を発足し、町民福祉と活性

## 町有財産の 有効活用は

三坂保育所廃止後の有効活用について質問した。

## 岩崎産業との 訴訟問題は

和解案による早期解決について質問した。

化を考えた利活用を検討している。病院組合は、23年12月20日から24年1月30日の受付期間で跡地利用者を公募したがすでに23年10月に一企業から跡地利用提案書が提出され運営会議に諮られたのは事実か  
**町長** 公募前の提出であるが首長の要望で資料の提供をし協議はしません。

**質問** 公募前に提案書を提出した企業に決定した場合い疑問が生じ、1市5町の関係に悪影響がでないか  
**町長** 公募前の企業からの提案に対して疾しい事は有りません。





横嶋 隆二 議員

## 公共事業のあり方と契約

**質問** 毎年賀詞交歓会で、商工会長から建設業界の窮状が訴えられてきたが、この間役場庁舎・認定子ども園など大型公共事業を実施したにもかかわらず、現状下請けから「単価が出ない、一体どうなっているのか」と非常に厳しい声が出た。下請けの現状を把握しているか。

**総務課長** 下請けの把握は下請け人通知書の提出により、現状の把握と指導を行う。

**質問** 郷土館との渡り廊下を入札、郷土館改修は随契約入札を行うべきだという声が上がったが、この経過は、**総務課長** 郷土資料館は、非常に工期が限られ、諸条件を含め地方自治法の施工例167条の2に基づき総合的に判断し随意契約とした。JVは、目的を庁舎建設と限ったためである。公共工事契約で受注者が健全な形で被雇用者との関係を結べるよう、積算方法、相互評価方式による発注法等について、今後検討したい。

## 水道事業について

**質問** 南伊豆町水道事業の特徴、耐震が必要な施設は。  
**町長** 98%の普及率。非常に施設数が多く給水区域が広く人口密度が低いため、施設費にかかる費用の割に給水域が少ない。また、観光人口を考慮した施設だ。  
**上下水道課長** 計画1日最大給水量8、600トン可能。去年最大は夏場お盆期5千トン。ほとんどの施設の耐震性はない。耐震診断することが必要。

**質問** 水道事業の将来展望と現状をつまびらかにしなければ、料金問題の議論に到底行きつかない。議会だより「水道料金の値上げを考えなければならぬ状況」と記述があったが拙速。議論の方向を決めるようなことをやってはいけない。体系を立て町全体の大所高所からの提案が必要。  
**町長** まさにそのとおりだ。将来に向けて水道事業の基本計画的なものが必要。



## 共立湊病院関連

**質問** 下田メディカルセンターの医師確保の状況は。入口交差点改良に関しての改良反対陳情の有無は。  
**町長** 常勤医師10名県派遣医師3名含む。他非常勤医師10名。看護スタッフは約65名。薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、事務職を含め職員総数では約130名。交差点改良について警察からそのような旨の指摘があり大変困惑した。

**質問** 平成21年度下田地区313件、下田病院16件が、平成22年度下田地区1、504

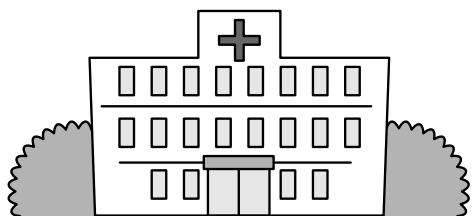


どうやって下田へ連れて行くのか。バスの半額補助で済むのかと。病院組合が南伊豆から下田へ病院を移すんだから、共立湊の跡地から本当は病院組合がバスを南伊豆町民のために出しますというのが、筋じやないかなと思うが。

**町長** 患者の通院距離が長くなる、バス代の半額補助をしたい。この補助についてもある程度時間がたった段階で、もう一遍検討しなければならぬ。

**質問** 患者輸送バスが町外に出ることに対しては、国・県の補助は出ない、町単独でもいいですか、片道だけでも出すという形も考えられるんじゃないか。  
**町長** 今の患者輸送バスが行けなければ一番いいです

件、下田病院598件に患者が紹介された。これは、地域医療振興協会が自ら経営する病院に患者を移動させたこと。看護師も半分以上、下田病院に引き抜いた。公立病院を困難な状況に陥れたのが地域医療振興協会だ。交差点改良妨害は、「共立湊病院をまじめに考える会」と称する議員がやった。こういう中でよくSMAが公立医療を継続してくれた。バックアップし、賀茂の医療の次の段階に進んでいく、その取り組みを進めるべき。  
**町長** いろいろあったが、地域の皆さんに信頼をいただけ愛される病院に関係者と一緒になって取り組んでいきたい。



が、今の制度のもとでは行えません。新たにとなると、別立ての患者輸送バスを計画しなければならぬ。過渡期で実態をよく見きわめてから対策を考えていきたい。

**質問** 湊病院の現在地、5月以降どう活用するのか。  
**町長** 診療所ができます。医療福祉的なゾーンとの考えで基本的にはあります。

**質問** 熱川の病院が廃院した。ベッド枠を共立病院組合、下田メディカルで枠としていただく考えはないのか。その先に湊へ小さな病院ができるんじゃないか。  
**町長** 当共立病院では今回増床予定はない、新病院の経営、SMAが公立医療にその考え等はあるのかとお聞きしましたけれども、今の154床での考え方のようである。

**質問** 共立病院として増床する話もあってもいいのではないか。新たな病院を湊につくるという形でも考えられる。

## 新年度予算について



清水 清一 議員

**質問** 南伊豆町は町民一人当たりの年間所得が県下で一番低い。町民税が前年度の20%減、法人税12%減、町民の所得が上がらないことにはどうしようもない、その取り組み等は。

**町長** 各種資金の利子補給継続事業のほか電子ショッピングモールの店舗開設支援事業等の新規事業、昨年度並みの公共事業予算、限られた予算の中で、町内産業の活性化を図りたい。

**電機** アルファ米を用意する災害対策は。  
**総務課長** 住民の命、生活を守る対策を最優先し、選択と集中を進めていく。



**質問** 津波対策タワー、発



## 議会事務局人事異動



議会事務局長

山田 昌平

産業観光課から議会事務局に異動になりました。  
よろしく願います。



前議会事務局長

栗田 忠蔵

ご苦労様でした。  
お元気で。

退職

## 議会を聴きにきませんか

議会は町の予算や身近な問題などを話し合う大切な会議です。  
あなたも議会を傍聴してみませんか？

1年に4回の  
定例会が開か  
れます。

- 3月定例会（新年度の町予算の審議が主です）
- 6月定例会（町政の進捗状況などです）
- 9月定例会（前年度の町会計の決算審議が主です）
- 12月定例会（町事業の進捗状況の確認などです）

手続きは当日、住所、氏名等の記載で傍聴できます。午前9時30分から開会します。

●お問い合わせは議会事務局へ TEL 05558-62-6240



## 議会一口メモ

### 議会制民主主義

議会制民主主義とは、選挙を通じて選出された代表者（議員）で構成される議会を中心として政を行っていくことにより、国民の合意による政治という民主主義の理念を実現していこうとするものです。従って、国民の意思を代表するものとして、政治の中心に置かれる事となります。

おける代表者を通じて「行動すると述べられ、議会制民主主義を採用することを明らかにしています。」  
もつとも、議会制民主主義が真に民主主義として機能するためには、代表者（議員）が国民へ意思を可能な限り反映される選挙制度によって選出されなければなりません。又、代表者（議員）によつて構成される議会は、多数決による合議の前に、少数意見にも冷静なる討議を行わなければなりません。この事は、国会でも都道府県議会、市町村議会でも同様です。

## 南伊豆町交通指導員を募集しています。

交通指導員とは、南伊豆町における交通指導並びに交通安全思想の普及高揚をはかり、交通安全を保持することを目的としています。

【お問合せ】

南伊豆町役場 総務課 防災係  
TEL 0558-62-6211



内閣府の有識者検討会から三月三十一日に発表された「南海トラフ巨大地震」での南伊豆町の予想津波高が、県内最高レベルの25.3メートルとの値を示した。皮肉にも、災害対策前線基地として建設した新庁舎竣工式翌日のことである。

全国的に防災対策の全面的な見直しが必要となったわけだが、ひとり一人ができることから始めることが重要で、地域で行われる防災訓練への参加はもちろんのこと、近隣のグループによる自主的な訓練も有効である。町内各地の防災委員や消防団の活動にも変化が求められる。

勇往邁進（加）